

白ネギ一大産地への挑戦！

1 現在の農業経営の概要

経営地・氏名	福井県 小林 弘典 さん
経営開始年	平成24年（2012年）
営農類型	露地野菜(ネギほか)、施設野菜(メロン)
経営規模	露地野菜 2.5ha、施設野菜 35 a
公庫資金ご利用歴	<就農4年目> 格納庫・管理機等取得のため青年等就農資金（4百万円） <就農6年目> ネギの集荷調製施設建設等のためスーパーL資金（10百万円）



2 就農までの経歴・就農のきっかけ

滋賀県出身。自分で経営をしたいとの夢を抱きながら、小売業を含めていくつかの仕事を経験。その後、大阪で開催された新・農業人フェアに参加し、非農家の自分が農業を始めることができることを知り、自分で経営をしたいという夢を実現させるため、妻の実家のある福井県に移住。農林総合事務所（県の組織）を通じて、水稻農家及びメロン・トマト農家に各1年ずつ研修後、就農。

3 今後の抱負/後に続く新規就農者の方々に送るエール

◆今後の展望◆

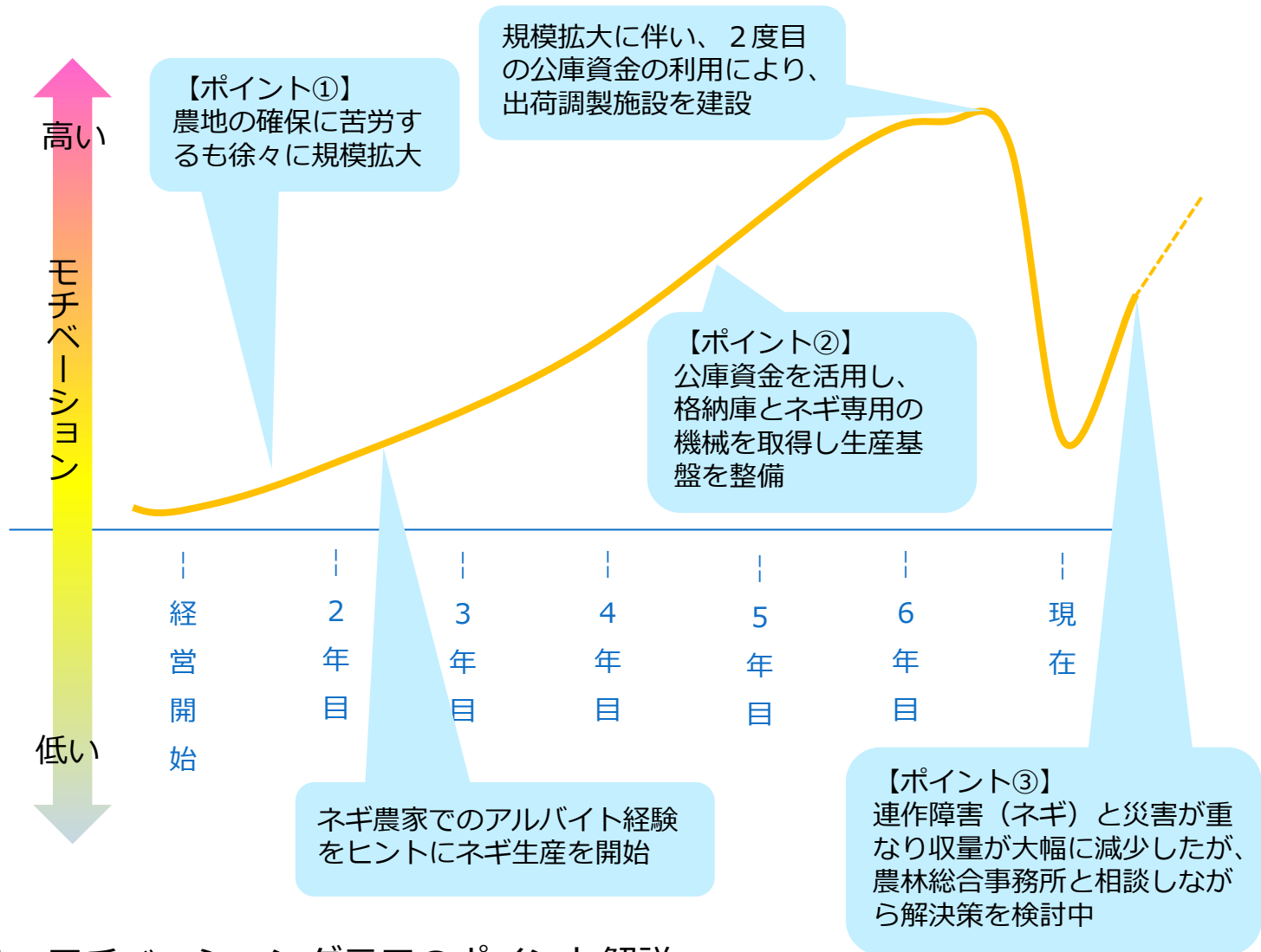
ネギを中心としたメロン、ニンジンの複合経営を目指し、連作障害（ネギ）に強い生産体制を早く実現したいです。

◆後輩の皆さんへ◆

いいネギを作るために、農業者の若手もベテランも行政の担当の方もみんなで知恵を絞っています。あわら地区をネギの一大産地にするために、一緒にネギを作りませんか。これから、若い人が増えることを期待しています！



4 小林さんのこれまでの経営とモチベーショングラフ



5 モチベーショングラフのポイント解説

主なできごと / 経営上の課題と解決策

- ① 農地の確保に苦勞しましたが、地域の支援センター、周辺農家等から情報を幅広く集めて徐々に規模拡大を進めました（1年目20a→2年目60a→3年目100a）。農地の確保に向けた取り組みは今後も重要な課題です。
- ② 就農当初はメロンとニンジンを栽培していましたが、試験的に始めたネギは収量が多く、収入の柱になる手ごたえを感じました。その頃、農外で勤めていた妻が大げがをしたことをきっかけに、妻が座って出荷作業ができるネギ主体の経営に転換することを決意しました。公庫資金を活用し、格納庫等を取得することで、生産基盤を整備しました。ほとんど農業の収入がない状況での相談でしたが、資金調達ができたのは助かりました。
- ③ 7年目（現在）は連作障害（ネギ）と災害（大雪、長雨、高温障害等）が重なり大幅に収量が減少しました。特に連作障害（ネギ）の対策について、農林総合事務所と相談しながら、解決策を検討し、安定した収量を確保できる生産体制づくりを模索しています。